Sx250シリーズスマートスイッチのログ集約設 定の設定

目的

Syslogサービスはメッセージを受け入れ、ファイルに保存するか、単純な設定ファイルに従って 出力します。この形式のロギングは、シスコのデバイスに最適です。これは、保護された長期ス トレージをログに提供できるためです。これは、日常的なトラブルシューティングとインシデン ト処理の両方で役立ちます。

ロギングアグリゲーションとは、インスタンスが発生するたびに同じタイプの複数のsyslogメッ セージが画面に表示されないことを意味します。ロギング集約を有効にすると、特定の期間に受 信するシステムメッセージをフィルタリングできます。同じタイプのsyslogメッセージをいくつ か収集するため、発生時には表示されず、指定した間隔で表示されます。

この記事では、Sx250シリーズスマートスイッチのログ集約設定の設定方法について説明します。

該当するデバイス

- SG250シリーズ
- SF250シリーズ

[Software Version]

• 2.1.0.63

ログ集約設定の設定

ログ集約設定の有効化

ステップ1:スイッチのWebベースのユーティリティにログインし、[Administration] > [System Log] > [Log Settings]を選択します。

注:このシナリオでは、SG250-10Pスイッチが使用されます。



ステップ2:[Enable Syslog Aggregator] チェックボックスをオンにして、Syslogメッセージとトラ ップの集約を有効にします。有効にすると、同一の連続したSyslogメッセージとトラップが指定 されたMaxで集約されます。1つのメッセージで送信される集約時間。集約されたメッセージは、 到着順に送信されます。各メッセージには、集約された回数が示されます。

Log Settings		
Logging: Syslog Aggregator:	 Enable Enable 	
Max. Aggregation Time:	300	sec (Range: 15 - 3600, Default: 300)
Originator Identifier:	 None Hostname IPv4 Address IPv6 Address User Defined 	(0/160 characters used)

注: Syslog Aggregatorはデフォルトで無効になっています。

ステップ3:(オプション)最大値を秒単位で入力します。[集約時間]フィールド:メッセージが表示される間隔を指定します。デフォルト値は 300 秒です。

Syslog Aggregator:

Enable

Max. Aggregation Time: 300

sec (Range: 15 - 3600, Default: 300)

ステップ4:(オプション)SyslogメッセージにオリジンIDを追加するには、次のオプションから [Originator Identifier]を選択します。

Originator Identifier:	 None Hostname IPv4 Address IPv6 Address 	
	 User Defined 	(0/160 characters used)

- None:Syslogメッセージに元のIDを含めない
- IPv4 Address:Syslogメッセージに送信側インターフェイスのIPv4アドレスを含めます
- IPv6 Address:Syslogメッセージに送信側インターフェイスのIPv6アドレスを含めます
- [User Defined]:Syslogメッセージに含める説明を入力します

注:この例では、[IPv4 Address]が選択されています。デフォルトのOriginator IdentifierはNoneに 設定さ**れま**す。

<u>ステップ5:(オプション)[RAM Memory Logging]領域で、Random Access Memory(RAM)に記録</u> <u>するメッセージの重大度を選択するには、オンまたはオフにします。</u>

RAM Memory Logging		Flash Memory L	Flash Memory Logging	
Emergency:		Emergency:		
Alert:		Alert:		
Critical:		Critical:		
Error:		Error:		
Warning:		Warning:		
Notice:		Notice:		
Informational:		Informational:		
Debug:		Debug:		
Apply Cancel				

重大度レベルの値は次のとおりです。

- •0:緊急
- ・1:アラート
- •2:緊急
- •3:エラー
- •4:警告
- •5-通知
- •6:情報
- •7:デバッグ

ステップ6:(オプション)[Flash Memory Logging]領域で、フラッシュメモリに記録するメッセー ジの重大度レベルを選択するには、オンまたはオフにします。上記のステップ5で定義した値と同 じ値<u>を参照してく</u>ださい。

ステップ7:[Apply]をクリックして、実行設定ファイルに変更を保存します。

ステップ8:[**Save**]をクリックし**、起動**設定ファイルを更新します。

1	Save cisco 10-Port Gigabit PoE Smart Switch				
	Log Settings				
	Success. To permanently save the configuration, go to the Copy/Save Configuration				
	Logging:	6	Enable		
	Syslog Aggregat	tor:	Enable		
	🗢 Max. Aggregatio	n Time:	300	sec (Range: 15 - 3600, Default: 300)	
	RAM Memory L	ogging	Flash Memory L	Logging	
	Emergency:		Emergency:		
	Alert:		Alert:		
	Critical:		Critical:		
	Error:		Error:		
	Warning:		Warning:		
	Notice:		Notice:		
	Informational:		Informational:		
	Debug:		Debug:		
	Apply	ancel			

これで、Sx250シリーズスマートスイッチのログ集約設定が設定されました。

RAMからのログの表示またはクリア

[RAMメモリ(RAM Memory)]ページには、RAM(キャッシュ)に保存されたすべてのメッセージ が時系列で表示されます。エントリは、[Log Settings]ページの設定に従ってRAMログに保存され ます。

ステップ1:RAMメモリからログを表示するには、[Status and Statistics] > [View Log] > [RAM Memory]を選択します。



ステップ2:(オプション)アラートアイコンの点滅を有効または無効にするには、[アラートアイ コンの点滅]ボ**タンをクリック**します。デフォルト設定は[Enabled]で、ボタンには[Disable Alert Icon Blocking]と表示されます。

注:次の図では、アラートアイコンの点滅が有効になっています。

RAM Memory

Alert Icon Blinking:

Log Popup:

Enabled

Enabled

Disable Alert Icon Blinking

Disable Log Popup

Current Logging Threshold: Informational Edit

KAW Memory Log Table					
Log Index	Log Time	Severity	Description		
2147483593	2016-May-02 05:52:50	Informational	%AAA-I-CONNECT: New http connection f		
2147483594	2016-May-02 05:48:24	Informational	%AAA-I-DISCONNECT: http connection for		
2147483595	2016-May-02 05:37:11	Informational	%AAA-I-CONNECT: New http connection f		
2147483596	2016-May-02 05:37:06	Warning	%AAA-W-REJECT: New http connection fo		
2147483597	2016-May-02 04:07:34	Informational	%AAA-I-DISCONNECT: http connection fo		
2147483598	2015-Dec-07 03:02:06	Informational	%AAA-I-CONNECT: New http connection f		
2147483599	2015-Dec-07 02:53:56	Informational	%BOOTP_DHCP_CL-I-DHCPCONFIGUR		
2147483600	2015-Dec-07 02:53:53	Warning	%BOOTP_DHCP_CL-W-DHCPIPCANDID		
2147483601	2015-Dec-07 02:53:49	Informational	%LINK-I-Up: Vlan 1		
2147483602	2015-Dec-07 02:53:49	Warning	%LINK-W-Down: Vlan 1		
2147483603	2015-Dec-07 02:53:44	Warning	%NT_GREEN-W-EeeLldpMultiNeighbours		
2147483604	2015-Dec-07 02:53:44	Warning	%STP-W-PORTSTATUS: gi24: STP status		
2147483605	2015-Dec-07 02:53:42	Informational	%LINK-I-Up: Vlan 1		
2147483606	2015-Dec-07 02:53:42	Informational	%LINK-I-Up: gi24		
2147483607	2015-Dec-07 02:51:03	Informational	%INIT-I-Startup: Cold Startup		
2147483608	2015-Dec-07 02:49:28	Notice	%SYSLOG-N-LOGGING: Logging started.		

ステップ3:(オプション)ログポップアップを有効または無効にするには、[ログポップアップ]ボ タンをク**リックしてく**ださい。デフォルト設定は[Enabled]で、ボタンには[Disable Log Popup]が 表示されます。

 Alert Icon Blinking:
 Enabled
 Disable Alert Icon Blinking

 Log Popup:
 Enabled
 Disable Log Popup

 Current Logging Threshold:
 Informational
 Edit

注: [Current Logging Threshold]には、現在のRAMロギング設定が表示されます。[Edit]リンクを クリックすると、[Log Settings]ページが表示されます。

[RAMメモリ]ページには、次のフィールドがあります。

- Log Index: ログエントリ番号
- Log Time:メッセージが生成された時刻
- Severity:イベントの重大度
- 説明:イベントを説明するメッセージテキスト

ステップ4:(オプション)ログメッセージをクリアするには、ページを下にスクロールし、[ログ のクリア]をクリ**ックします。**メッセージがクリアされます。

2147483627	2015-Dec-07 02:49:04	Warning	%LINK-W-Down: gi11
2147483628	2015-Dec-07 02:49:03	Warning	%LINK-W-Down: gi10
2147483629	2015-Dec-07 02:49:03	Warning	%LINK-W-Down: gi9
2147483630	2015-Dec-07 02:49:01	Warning	%LINK-W-Down: gi8
2147483631	2015-Dec-07 02:49:01	Warning	%LINK-W-Down: gi7
2147483632	2015-Dec-07 02:48:59	Warning	%LINK-W-Down: gi6
2147483633	2015-Dec-07 02:48:59	Warning	%LINK-W-Down: gi5
2147483634	2015-Dec-07 02:48:58	Warning	%LINK-W-Down: gi4
2147483635	2015-Dec-07 02:48:58	Warning	%LINK-W-Down: gi3
2147483636	2015-Dec-07 02:48:55	Warning	%LINK-W-Down: gi2
2147483637	2015-Dec-07 02:48:55	Warning	%LINK-W-Down: gi1
2147483638	2015-Dec-07 02:48:50	Informational	%SSL-I-SSLCTASK: Aut
2147483639	2015-Dec-07 02:48:49	Informational	%SSL-I-SSLCTASK: Sta
2147483640	2015-Dec-07 02:48:47	Informational	%Entity-I-SEND-ENT-CO
2147483641	2015-Dec-07 02:48:46	Informational	%Environment-I-FAN-S1
2147483642	2015-Dec-07 02:48:36	Informational	%SNMP-I-CDBITEMSN
Clear Logs			

これで、Sx250シリーズスマートスイッチのRAMメモリのログメッセージを表示またはクリアで きました。

フラッシュメモリからのログの表示またはクリア

[フラッシュメモリ]ページには、フラッシュメモリに保存されたメッセージが時系列で表示されます。ロギングの最小重大度は、[Log Settings]ページで設定します。デバイスをリブートしても、 フラッシュログは残ります。ログは手動でクリアできます。

ステップ1:フラッシュメモリからログを表示するには、[Status and Statistics] > [View Log] > [Flash Memory]を選択します。



注:[Current Logging Threshold]には、現在のフラッシュメモリロギング設定が表示されます。 [編集]リ**ンクを**クリックすると、[ログ設定]ページが表示されます。

Flash Memory					
Current Logging Threshold: Informational Edit					
Flash Memory Log Table					
Log Index	Log Time	Severity	Description		
2147483603	2016-May-03 02:16:25	Notice	%COPY-N-TRAP: The copy		
2147483604	2016-May-03 02:16:23	Informational	%COPY-I-FILECPY: Files Co		
2147483605	2016-May-03 02:15:14	Notice	%SYSLOG-N-LOGGINGFIL		
Clear Logs					

このページには、次のフィールドがあります。

- Log Index: ログエントリ番号
- Log Time:メッセージが生成された時刻
- Severity:イベントの重大度
- •説明:イベントを説明するメッセージテキスト

ステップ2:(オプション)ログメッセージをクリアするには、ページを下にスクロールし、[ログ のクリア]をクリ**ックします。**メッセージがクリアされます。 これで、Sx250シリーズスマートスイッチのフラッシュメモリのログメッセージを表示またはク リアできました。